様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 10 月 1 日
２次評価日（部長等）	29 年 10 月 1 日

１ 施策の概要

施策名	まちの活力を高める市街地整備				コード	13-2
この施策の主な内容（細施策）	（1）中心市街地への都市機能の誘導・集積　（2）湖畔地区の整備　（3）良好な市街地の形成					
第４次総合計画におけるこの施策の目的	都市機能を充実し、まちの活力を高めるために市街地整備や都市基盤整備を行う。					
担当部課	部	建設水道部	課等	都市計画課	作成者	小口智行

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	都市施設の整備進捗状況	ha	215.3	215.6	217.7	215.7	99.1%	218.8	220.0
	指標説明	まちの活力を高める都市施設（都市計画道路、公園など）の整備面積							
②							#DIV/0!		
	指標説明								
③							#DIV/0!		
	指標説明								

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	17,183	9,120	6,380	236
人件費	15,200	10,400	10,400	10,400
合計コスト	32,383	19,520	16,780	10,636

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

平成20年のリーマンショックにより事業を先送りしていたが、平成26年の経済情勢の変化を受けて、ララオカヤの再整備について整備手法の再検討を行なった。
新たにレイクウォークがオープンしたことで、まちの新たな賑わいができ、人の流れに変化が出てきている。
湖畔若宮地区は、地域の協力の元、地区内道路の岡谷113号線(62.1m)整備が完了した。地区計画のモデル地区として面的整備の重要性、必要性を地域住民に対し継続的に発信した。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	中心市街地の都市基盤整備が進んでいる。 鉄道高架事業が完了している。
岡谷市の弱み	空き家、空き店舗の増加、周辺市街地の無秩序な宅地化。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	人口急減、超高齢化社会、エネルギー問題等の社会情勢の変化に対応する、自律的、継続的な社会創生のための政策、制度が展開されている。
不利に働くもの	国及び地方の財政状況が悪化し事業費の確保が困難になり、災害対応、防災・減災への対応、既存ストックの改修なども増加している。

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	湊地区の活性化を図るため、湊湖畔土地利用構想策定事業の積極的な事業展開を検討する。 都市整備事業においては、東町線他都市計画街路事業や湖畔若宮地区計画事業の推進に向け地域住民との関わりを充実していく。
見直しを行う分野	岡谷駅整備事業と駅周辺地区活性化検討事業は、立地適正化計画、公共施設等総合管理計画等との整合を図りつつ、駅周辺の一体的な面的整備方針を検討する。 湖畔若宮地区整備事業は、地区計画の整備方針の周知に努め、関係住民の意識の高揚、情報交流を順次進めながら道路整備事業等は他の事業との統合を検討する。

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位						
							26年度	26年度	26年度			
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		内部		岡谷駅前整備事業	―	―	―	20	2,400	高い	継続して実施	A：拡大
							―	3,498	2,400			
							―	6,176	2,400			
							―	20	2,400			
2		内部		岡谷駅周辺地区活性化検討事業	―	―	―	50	800	標準	継続して実施	B：現状維持
							―	50	800			
							―	50	800			
							―	50	800			
3		建設		湖畔若宮地区整備事業	市道113号線の進捗率	%	14.1	17,113	11,200	標準	継続して実施	B：現状維持
							14.1	5,572	6,400			
							100.0	154	6,400			
								166	6,400			
4		建設		湊湖畔土地利用構想策定事業	進捗率	%	0.0	0	800	標準	継続して実施	B：現状維持
							0.0	0	800			
							0.0	0	800			
							0.0	0	800			
5												
6												
7												
8												
9												
10												